【４】その他

【４－１】文化課より移管された事務事業について

令和３年度より、下記の事務事業が郷土資料館の所管となりました。

（１）吉澤野球博物館より寄贈を受けた野球資料の管理及び展示事業

（２）市史編さん事業

（１）について

平成２７年に吉澤野球博物館より船橋市が譲り受けた約 6,300 点に及ぶ戦前からの東京６大学野球やプロ野球関連の貴重な野球関連資料について、文化課で整理及び目録作成を行ってきましたが、この作業が完了したため、郷土資料館へ同資料の保存・活用の事務が移管されました。

今後は、資料を良好に保存し、船橋アリーナ内「吉澤野球博物館資料展示室」や郷土資料館での展示事業を充実させていく予定です。

（２）について

前回の市史編さん事業は、昭和５４年度から平成１５年度までの２５年間にわたり実施いたしました。

今年度から、郷土資料館に考古・歴史・民俗の学芸員が揃い、専門的な知見を活かして市史編さん事業を遂行できることとなったため、文化課から郷土資料館への事務移管となりました。

今後、市制 100 周年（令和１９年）を視野に入れて市史編さん計画を策定する予定です。

【４－２】郷土資料館三山分室の開設について

令和３年３月末で廃止となった三山小学校の１階部分に立地する三山老人デイサービスセンターの跡地を、下記により、今年度から郷土資料館三山分室として、郷土資料館及び文化課の所蔵資料の保管と両課学芸員の執務施設とします。

記

施設名：　郷土資料館三山分室

面　積：　557.47 ㎡

所　在：　船橋市三山２丁目４２番１号（住所）

利用形態：

①吉澤野球博物館より寄贈を受けた野球資料及び美術関連資料等の収蔵

②玉川旅館より寄贈を受けた建具類、建築部材、調度品等の収蔵

③学芸員の調査・研究施設としての利用

④資料調査室としての利用

一時的な未整理資料の保管や資料整理・写真撮影などの作業場所として利用。

⑤研修・ワークショップのための利用

教職員向けの美術の鑑賞教育に関する研修を年１回程度行うほか、　将来的には収蔵資料を活用した申込制の市民向けワークショップ等を年に数回程度行う予定。

※当該施設は第一種中高層住居専用地域に位置するため、展示施設や集会活動を行うための施設としては使えません。

【４－３】収蔵資料を活用した「回想法」プログラムの作成について

令和２年度において、文化庁が公募した「戦略的芸術文化創造推進事業」を利用し、郷土資料館の収蔵資料を活用した「回想法」プログラムの動画を作成いたしました。

令和３年５月１日から、市内高齢者施設等で回想法に関するプログラムとして活用し、認知症の予防につなげていきます。

作成した動画は、「①オルガンと共によみがえる思い出の調べ」「②バーチャル四畳半にあふれる思い出」の２本です。

①は、市内に唯一あった戦時疎開学園である「花輪戦時疎開学園」で使用されていたオルガンを使い、６曲の唱歌や童謡を温かみのある音に乗せて、昭和２０年代をイメージした先生・生徒役の役者１１人が歌います。

花輪戦時疎開学園は、昭和１９年に東京から船橋に疎開してきた児童のために開校されました。このオルガンは戦後、同学園が閉鎖されたのち、近隣にあった宮本国民学校（現宮本小学校）の先生に引き継がれ長らく保存されてきましたが、昭和６１年に郷土資料館に寄贈されました。寄贈時すでに壊れて音が鳴らない状態でしたが、令和３年１月から横浜市の工房で、およそ１カ月かけて修理が行われました。傷みが激しい本体裏の板を張り直し、錆びた部品や鍵盤などを磨き直して、戦時中に使用されたとは思えないほどきれいに生まれ変わり、当時の音色も復活しました。

②は郷土資料館に作られた四畳半の居間を３６０度カメラで撮影し、そこに昭和３０～５０年代の暮らしの様子や洗濯板、黒電話など当時使われていた道具の画像を合成した動画です。ＶＲゴーグルを使って動画を見ると、四畳半の空間にノスタルジー溢れる風景や道具が現れます。

どちらも視聴することで、高齢者の当時の記憶や深い思い出の掘り起こしが期待できる動画になっています。①は希望する高齢者施設へＤＶＤの配付を行い、②の動画は郷土資料館のホームページで公開するほか、希望する高齢者施設へ簡易型ＶＲゴーグルの配布を行います。

（※）回想法…昔の懐かしい写真や音楽、昔使っていた古い家庭用品などを見たり、触れたりしながら、昔の経験や思い出を語り合う心理療法の一つ。認知症の治療や予防に効果があるとされ、高齢者施設などで活用されている